

粟生第2住宅
自治会ニュース
第122号

発行 自治会
編集 広報部



新年のごあいさつ

会長 坂口茂樹

新年あけましておめでと
うございます。

会員の皆様方におかれま
しても良き新年をお迎えにな
られたことと存じます。

昨年は当自治会に格別のご
協力いただき、自治会創立十
周年という記念すべき年を無
事終えることができ、本当に
ありがとうございます。役員一
同このより厚くお礼申し上げ
ます。

さて、当自治会も新年を迎
え十一一年目に入る訳でござ
います。色々と解決しなければ

ない問題が山積いたしており
す、これら諸問題を解決する
ためには、会員各位のご指導
と協力を仰がなければとて解
決出来るものではないと思
います。

どうか本年も尚一層のご協
力を頂き、皆様方と共により
よい住宅環境を作るよう努力
してゆきたいと存じます。

最後になりましたが、会員各
位にとりまして本年がよりよ
い年でありませう心よりお祈
り申し上げます。新年のご挨拶
にかえさせていただきます。



住みよい環境づくりに自治会活動が不可欠

事務局長 増田通

新しい年を迎えたところで、
今年度(61年)の自治会の活
動も、はや三分の二が経過して
終盤に移っています。例年のパ
ターンでいきますと、既に進行中
の次期役員選出と、引き続き
て、新旧のバトンタッチの段取
りが、私達役員会の任期中の仕
事であるように思います。

振り返って見ると私の場合、
一昨年(60年)の暮れ此の団地
に越して来て間もない時、たま
たまお鉢が回って来て、当てが
わたるままに今の役割りをもち
たわけですが、その間「これで
よかったのか」ただそれだけが
残っているだけで、正直いって
何も出来なかつたような気がし
ます。

別に難しく考えての事ではあ
りませんが、その間これといっ
て特に苦心したことも、努力し
たこともなかつたように思いま
す。

会の運営についても、役員間
で、額を集めて知恵を絞るとい
うような事も、私の記憶にはあ
りません。

言いかえますと、すべて「昨
年は……」あるいは「従来、
それは……」などのコピーを無
難にこなして来た、そんな感じ
で、私なりに反省していること
です。

●よい環境を大切にしたい
この団地に住んで一年の私が
感じたことは

- 周辺の環境を含めて、緑が多
いし、自然に恵まれている。
- 比較的、交通公害に悩まされ
ることもないし、子育て(私に
は関係ありませんが)には願っ
てもない条件が整っている。
- 暴力その他による、一般社会
で問題になっているようなトラ
ブルも聞いていない。

近隣の生活環境を比較しても恵
まれてるように思います。

又この一年の、私の体験から
いいますと、よい思い出をつ
つてくれた「盆踊り」もそう
でしたし棟の皆さんと共に夢中
になった「ソフトボール大会」も、
理屈抜きにして楽しいひととき
でした。なかでも一昨年の年の
瀬(私達一家が越して来た年)
にお風呂の中で聞いた、「拍子
木」と「火の用心」の声は、団
地の人情が、暖かく呼びかけて
くれているようで強く印象に残
っています。

なんでもない事のようにですが、
このような事が、団地のよりよ
い環境づくりに大切な役割りを
果していることは否定できない
と思います。

特にこの一年で、団地の「化
粧なおし」(管理組合の61年度
の事業として)が終って団地の
外観も一新しました。

この団地は自然にも恵まれ、
広い意味での環境整備は前向き
に機能していると思います。

●触れ合いの場づくりに工夫
自治会の役割りをひと言でい
いますと、地域の「コミュニテ
ィー」づくりではないかと思
います。触れ合いの場を作り、そ
のなから、住みよい環境づく
りに協力し合う風潮をつくるこ
とが必要ではないでしょうか。

自治会ができて十年になると
聞いていますが、その間いろいろ
と苦勞なさいた諸先輩に敬
意を表したいと思ひます。

ところがその一方で、在住世
帯の中に、自治会の会員でない
ケースがあるということが気が
かりです。その理由について、
「自治会の役員が回ってくる」
と決めつけているところにも若
干問題を感じますし、自治会の
現状における大きなテーマでも
あると思います。

この問題とは直接関連するか
どうかはわかりませんが、自治
会における「触れ合いの場」が
役員・顧問相互間に、かたよっ
ている向きがないとはいきま
せん。勿論、年一回の盆踊り、
ソフトボール大会は、その役割
りを果たしていることはいま
まありませんが、その辺に問題
がありそうな気がしてなりませ
ん。

偏見であり、私の「ひとりご
と」に過ぎませんが、「触れ合
いの場」にプラスアルファの
工夫が要るのではないかと考え
ます。残された期間にできるだ
け反映する努力をしてみよう
と思っています。

これは、現在の役員会の任期
中に具体化することは出来ない
と思ひますが、せめてレールだ
けでも敷いておけたらと念願し
ています。

「ハード」(管理組合の事業)
ができて、「ソフト」(自治会
の運営)で心が通い合う、そ
から住みよい環境が生れる。

この関連を、理解することがで
きるようになった時、皆さんに
進んで役員に出ていただくと
思うし、居住者イコール、自治
会の会員という状態が実現する
と信じています。

私の感じた事

副会長 江頭 巖

自治会の役員になり八ヶ月を
経過しました。長かったよう
でもあり短いようにも感じていま
す。

振り返って見ると色々な行事
がありました。中でも盆踊り
大会が一番強い印象として残っ
ています。今迄はただ参加する
だけでしたが今回は参加してい
ただく方に回り人のお世話をす
る事がいかに大変であるかを身
をもって知りました。

粟生団地を住みよい町に子供達
にとつては良き故郷になる様に
願ひ御活躍されている先輩役員
及び自治会顧問の方々には唯々
頭の下がる思いです。

「百里の道も一歩から」と言
います、今一度初心に返り住み
良い町作りの為に頑張りますの
で御協力の程よろしくお願ひ致
します。

明けまして

おめでとー

ミシガンです

昭和六十二年元旦

粟生第二住宅自治会
役員一同



いよいよ始まる62年度役員(候補)の選出

今年度の役員任期も、あと一ヶ月余りとなり次期役員(候補)の選出が各棟で行われていると思えます。

ここで自治会の役員職務を紹介させていただきます。

・会長
会を代表し、会を統括する。

・副会長
会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。

・事務局長
事務局を統括し、会務を処理する。

・会計
会計事務を担当する。

・会計監査
会の会計を監査する。

・顧問
会運営のため諮問を受ける。

・環境衛生部
住みやすい栗生第二住宅をつくるために、貢献することが目的です。

・交通安全対策部
駐車場の運営管理とともに、交通安全のために広範な活動を行う。

・広報部
「栗生」の編集、発行、各部や役員会からの情報、各種催しなどを、自治会員のみなさんに伝達します。

・渉外部
当自治会の意見を関係各方面に伝えます。

・事業共済部
当団地への販売を要望する企業の商品のあつせんなどを行います。

・体育部
ソフトボール大会を行います。

・福祉厚生部
乳幼児検診、住民検診、共同募金等のお世話など、敬老の日には自治会からお祝いを届けます。

・婦人部
天ぷら廃油を回収して無公害手紙の製造の原料にするお手伝いをします。

・文化部
団地の暮らしを少しでもうるおいのあるものにと益おどり大会を開催します。

・防犯防災部
歳末パトロールの実施が主な仕事となります。駐車場荒らしが発生していますので警察へのパトロールを要請するなどの交渉を行います。

「歳末夜回りが行われました」

昨年末の二十八日・二十九日・三十日の三日間、団地内の夜回りが実施されました。

夜九時から十一時まで、防犯委員始め、各役員の方の協力を得て、無事終了する事が出来ました。

(広)



福寿会餅つき大会

十二月十四日(日)今年も福寿会の餅つき大会が行われました。

会員は朝から集会所で、準備を整え、威勢のよい掛け声と共に餅つきが始まりました。

出来たてのお餅は、会員総出で丸められ、あんこ餅、きなこ餅、おろし餅など出来たてのお餅を楽しみました。



福寿会加入のお誘い

団地が出来てから十年余福寿会も皆さんの御援助で十一年目を迎えました。会員四十名程の老人が月一回集まって世間話に花を咲かせて一ときを過ごして居ります。団地内には老人の方も大分増加して居ります今日、六十才以上の老人の方は是非参加して楽しい老人の会合を盛り上げて下さい。年に一回一泊どまりの旅行もあります。

会合は毎月第二日曜午後一時から四時まで集会所にてしております。

芳賀記

加入御希望の方は
☎二九一六九五五へ



☆新入会員の紹介☆

棟号室	会員夫妻名
二二〇二	寺 博一 久美子
八一〇一	西 元 裕子
二二一〇八	山 本 恵生
二二二〇二	磯 田 昌彦 美貴
一八一五〇三	久 永 浩志 豊子
二六一五〇六	山 上 一 廣子
二九一〇三	近 藤 貞夫 和子

●赤ちゃん検診

十二月十日の赤ちゃん検診は四十一名の赤ちゃんが受診されました。

今年も、今まで通り、偶数月の第二水曜日です。多くの方のご利用をお待ちしております。

福祉厚生部

●簡易保険の手数料

集金の手数料の一部が、自治会に入金されました。

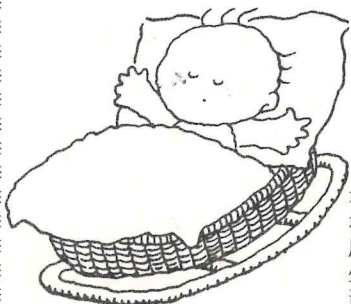
十月分 五一、二六二円
十一月分 五三、一八五円
以上です。 事業共済部

●投稿のお願い

自治会ニュース「栗生」への投稿をお願いします。

建設的なご意見、明るいニュース、短歌・俳句・川柳など、お待ちしております。

広報部 十三二〇二 神中
二四一四〇二 山浦
三七一〇二 金谷
三五一四〇二 古川



粟生川柳

1棟 吉川正己

本日は川柳のことを、少しお話ししたいと思います。

箕面・吹田・豊中地区だけでも川柳会は、十ヶ所前後あります。

川柳会は原則として、宿題又は課題というのがあって、川柳の愛好者はこの題に従って、川柳を作句致します。

最近の宿題のうちに「二人」と「洋酒」というのがありましたので、その題に依る川柳を披露致します。

宿題「洋酒」

カクテルの女静かに熟れてゆく
うなずいて洋酒の罫に落ちた恋
チェリー酒で女心をくすぐられ
ストレートうっかり酔うたのが
不覚

川柳北千里八十一号に依る